

〈テーマ〉明確な学習課題を設定し、教材・教具を工夫することで、数学的な関心を高める取組

(大和町立大和中学校)

実践例(1) 既習事項や身近な例を利用し、課題を視覚的に提示することで、生徒に学習課題を明確に把握させる。

〈例〉1年 1次方程式の利用，比例式の利用
くぎの本数を求める問題

〈生徒の反応〉

- ・1本の重さを求める。
- ・比例式をつくる。
- ・本数を数える。



実践例(2) 写真や映像，デジタル教科書による資料の提示を，導入の場面で課題に対する数学的な関心を高めるために用いたり，展開の場面で課題に対する考えがイメージがしやすくなるシュミレーションや動画を用いたりして，数学的な見方や考え方につなげる。



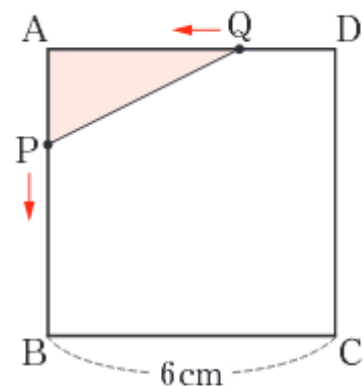
〈例〉3年 2次方程式の利用

動点PQとAで囲まれる面積を求める問題

動点にともなって変化する面積を，各自に考えさせた後，デジタル教科書でシミュレーションを見せた。

〈生徒の反応〉

- ・動きが見えて，何を求めるかはっきりした。
- ・面積が増えていく部分と減っていく部分がある。
- ・直角三角形の面積を求めればいい。



実践例(3) 課題は必ず板書し，整理された見やすい板書を心掛けることで，学習内容の構造化につなげる。

〈例〉

- ・課題は黒板の左上に記述し，赤チョークで囲む。
- ・まとめは，黒板の右下に記述し，青チョークで囲む。

〈生徒の反応〉

- ・定着することで，課題が明確になった。
- ・できるだけ生徒の言葉でまとめをしたことで，何を学んだかを確認できた。